

普通会計貸借対照表

(平成29年03月31日 現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】	—	【負債の部】	—
固定資産	38,735,912	固定負債	9,260,238
有形固定資産	34,173,373	地方債	7,552,308
事業用資産	17,305,881	長期未払金	—
土地	2,934,491	退職手当引当金	1,693,147
立木竹	2,650,622	損失補償等引当金	—
建物	31,617,495	その他	14,783
建物減価償却累計額	△19,947,013	流動負債	1,352,860
工作物	71,499	1年内償還予定地方債	1,250,130
工作物減価償却累計額	△21,212	未払金	—
船舶	3,434	未払費用	—
船舶減価償却累計額	△3,434	前受金	—
浮標等	—	前受収益	—
浮標等減価償却累計額	—	賞与等引当金	80,379
航空機	—	預り金	22,352
航空機減価償却累計額	—	その他	—
その他	—	負債合計	10,613,098
その他減価償却累計額	—	【純資産の部】	—
建設仮勘定	—	固定資産等形成分	40,433,641
インフラ資産	16,652,768	余剰分(不足分)	△9,731,001
土地	18,438		
建物	34,505		
建物減価償却累計額	△34,505		
工作物	41,567,626		
工作物減価償却累計額	△24,933,295		
その他	—		
その他減価償却累計額	—		
建設仮勘定	—		
物品	807,956		
物品減価償却累計額	△593,233		
無形固定資産	50,281		
ソフトウェア	48,328		
その他	1,954		
投資その他の資産	4,512,258		
投資及び出資金	689,248		
有価証券	51,989		
出資金	95,128		
その他	542,131		
投資損失引当金	—		
長期延滞債権	46,193		
長期貸付金	—		
基金	3,478,604		
減債基金	200,152		
その他	3,278,452		

その他	300,000		
徴収不能引当金	△1,787		
流動資産	2,579,826		
現金預金	604,921		
未収金	9,719		
短期貸付金	—		
基金	1,697,729		
財政調整基金	1,697,729		
減債基金	—		
棚卸資産	31,032		
その他	236,450		
徴収不能引当金	△24	純資産合計	30,702,640
資産合計	41,315,738	負債及び純資産合計	41,315,738

普通会計行政コスト計算書

自 平成28年04月01日

至 平成29年03月31日

(単位：千円)

科目	金額
経常費用	8,656,016
業務費用	5,290,817
人件費	1,214,326
職員給与費	1,065,260
賞与等引当金繰入額	80,379
退職手当引当金繰入額	—
その他	68,687
物件費等	3,938,145
物件費	1,810,062
維持補修費	540,787
減価償却費	1,584,455
その他	2,841
その他の業務費用	138,345
支払利息	102,240
徴収不能引当金繰入額	1,811
その他	34,293
移転費用	3,365,199
補助金等	1,511,634
社会保障給付	590,701
他会計への繰出金	1,261,427
その他	1,437
経常収益	509,077
使用料及び手数料	182,100
その他	326,977
純経常行政コスト	8,146,938
臨時損失	0
災害復旧事業費	—
資産除売却損	0
投資損失引当金繰入額	—
損失補償等引当金繰入額	—
その他	—
臨時利益	—
資産売却益	—
その他	—
純行政コスト	8,146,939

普通会計純資産変動計算書

自 平成28年04月01日

至 平成29年03月31日

(単位：千円)

科目	合計	固定資産等形成分	
		固定資産等形成分	余剰分(不足分)
前年度末純資産残高	30,745,959	41,145,837	△10,399,877
純行政コスト(△)	△8,146,939		△8,146,939
財源	7,964,736		7,964,736
税収等	7,026,182		7,026,182
国県等補助金	938,554		938,554
本年度差額	△182,203		△182,203
固定資産等の変動(内部変動)		△851,079	851,079
有形固定資産等の増加		232,237	△232,237
有形固定資産等の減少		△1,584,455	1,584,455
貸付金・基金等の増加		597,876	△597,876
貸付金・基金等の減少		△96,736	96,736
資産評価差額	—	—	—
無償所管換等	118,884	118,884	
その他	20,000	20,000	—
本年度純資産変動額	△43,319	△712,196	668,876
本年度末純資産残高	30,702,640	40,433,641	△9,731,001

普通会計資金収支計算書

自 平成28年04月01日

至 平成29年03月31日

(単位：千円)

科目	金額
【業務活動収支】	—
業務支出	7,047,437
業務費用支出	3,682,238
人件費支出	1,192,423
物件費等支出	2,364,803
支払利息支出	102,240
その他の支出	22,772
移転費用支出	3,365,199
補助金等支出	1,511,634
社会保障給付支出	590,701
他会計への繰出支出	1,261,427
その他の支出	1,437
業務収入	8,284,116
税収等収入	7,022,774
国県等補助金収入	855,417
使用料及び手数料収入	182,566
その他の収入	223,360
臨時支出	—
災害復旧事業費支出	—
その他の支出	—
臨時収入	—
業務活動収支	1,236,679
【投資活動収支】	—
投資活動支出	599,949
公共施設等整備費支出	233,249
基金積立金支出	350,577
投資及び出資金支出	15,610
貸付金支出	513
その他の支出	—
投資活動収入	180,339
国県等補助金収入	83,137
基金取崩収入	95,625
貸付金元金回収収入	1,577
資産売却収入	—
その他の収入	—
投資活動収支	△419,609
【財務活動収支】	—
財務活動支出	1,266,347
地方債償還支出	1,266,347
その他の支出	—
財務活動収入	740,900
地方債発行収入	740,900
その他の収入	—
財務活動収支	△525,447
本年度資金収支額	291,623

前年度末資金残高	276,163
本年度末資金残高	567,786
前年度末歳計外現金残高	32,717
本年度歳計外現金増減額	4,418
本年度末歳計外現金残高	37,134
本年度末現金預金残高	604,921

一般会計等

【様式第5号】

附属明細書

1. 貸借対照表の内容に関する明細

(1) 資産項目の明細

①有形固定資産の明細

(単位：円)

区分	前年度末残高 (A)	本年度増加額 (B)	本年度減少額 (C)	本年度末残高 (A) + (B) - (C) (D)	本年度末 減価償却累計額 (E)	本年度償却額 (F)	差引本年度末残高 (D) - (E) (G)
事業用資産	37,116,847,121	191,726,012	0	37,308,573,133	19,971,659,331	689,814,390	17,336,913,802
土地	2,955,523,230	10,000,000	0	2,965,523,230	0	0	2,965,523,230
立木竹	2,646,509,600	4,112,339	0	2,650,621,939	0	0	2,650,621,939
建物	31,446,361,019	171,133,673	0	31,617,494,692	19,947,013,079	686,154,444	11,670,481,613
工作物	65,019,122	6,480,000	0	71,499,122	21,212,104	3,659,946	50,287,018
船舶	3,434,150	0	0	3,434,150	3,434,148	0	2
インフラ資産	41,619,899,129	669,617	0	41,620,568,746	24,967,800,493	844,517,459	16,652,768,253
土地	18,437,620	17	0	18,437,637	0	0	18,437,637
建物	34,505,000	0	0	34,505,000	34,504,999	0	1
工作物	41,566,956,509	669,600	0	41,567,626,109	24,933,295,494	844,517,459	16,634,330,615
物品	681,976,307	139,866,902	15,383,363	806,459,846	592,983,108	41,584,837	213,476,738
物品	681,976,307	139,866,902	15,383,363	806,459,846	592,983,108	41,584,837	213,476,738
合計	79,418,722,557	332,262,531	15,383,363	79,735,601,725	45,532,442,932	1,575,916,686	34,203,158,793

一般会計等

【様式第5号】

附属明細書

1. 貸借対照表の内容に関する明細

(1) 資産項目の明細

②有形固定資産の行政目的別明細

(単位：円)

区分	生活インフラ・ 国土保全	教育	福祉	環境衛生	産業振興	消防	総務	合計
事業用資産	3,285,835,747	3,492,171,176	1,019,171,664	205,468,837	4,932,929,483	242,598,932	4,158,737,963	17,336,913,802
土地	228,379,300	527,319,376	108,368,901	12,513,045	285,456,263	34,105,229	1,769,381,116	2,965,523,230
立木竹	0	0	0	0	2,650,621,939	0	0	2,650,621,939
建物	3,055,597,087	2,964,575,162	910,802,751	192,955,789	1,989,222,540	208,493,698	2,348,834,586	11,670,481,613
工作物	1,859,360	276,637	12	3	7,628,740	5	40,522,261	50,287,018
船舶	0	1	0	0	1	0	0	2
インフラ資産	16,572,140,054	0	0	0	80,532,261	0	95,938	16,652,768,253
土地	18,341,690	0	0	0	9	0	95,938	18,437,637
建物	1	0	0	0	0	0	0	1
工作物	16,553,798,363	0	0	0	80,532,252	0	0	16,634,330,615
物品	28,977,384	28,707,331	6,876,769	4,113,119	11,344,428	0	133,457,707	213,476,738
物品	28,977,384	28,707,331	6,876,769	4,113,119	11,344,428	0	133,457,707	213,476,738
合計	19,886,953,185	3,520,878,507	1,026,048,433	209,581,956	5,024,806,172	242,598,932	4,292,291,608	34,203,158,793

3. 純資産変動計算書の内容に関する明細

(1) 財源の明細

(単位：円)

会計	区分	財源の内容		金額	
一般会計等	税収等			7,026,181,728	
		小計		7,026,181,728	
	国県等補助金	資本的 補助金			938,553,818
			小計		938,553,818
		経済的 補助金			0
			小計		0
			小計	938,553,818	
			合計	7,964,735,546	

一般会計等

(2) 財源情報の明細

(単位：円)

区分	金額	内訳			
		国県等補助金	地方債	税収等	その他
純行政コスト	△8,146,938,508	△8,146,938,508	0	0	0
有形固定資産等の増加	0	0	0	0	0
貸付金・基金等の増加	0	0	0	0	0
その他	20,000,000	20,000,000	0	0	0
合計	△8,126,938,508	△8,126,938,508	0	0	0

単体貸借対照表
(平成29年03月31日 現在)

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】	—	【負債の部】	—
固定資産	46,453,734,515	固定負債	11,366,346,998
有形固定資産	42,157,300,650	地方債	9,535,830,149
事業用資産	18,212,004,522	長期未払金	—
土地	3,017,566,872	退職手当引当金	1,693,147,000
立木竹	2,650,621,939	損失補償等引当金	—
建物	33,311,835,619	その他	137,369,849
建物減価償却累計額	△20,844,592,518	流動負債	1,651,073,890
工作物	160,577,549	1年内償還予定地方債	1,449,521,955
工作物減価償却累計額	△84,004,941	未払金	52,209,906
船舶	3,434,150	未払費用	—
船舶減価償却累計額	△3,434,148	前受金	—
浮標等	—	前受収益	—
浮標等減価償却累計額	—	賞与等引当金	125,291,785
航空機	—	預り金	22,664,244
航空機減価償却累計額	—	その他	1,386,000
その他	—	負債合計	13,017,420,888
その他減価償却累計額	—	【純資産の部】	—
建設仮勘定	—	固定資産等形成分	48,151,463,422
インフラ資産	23,376,257,387	余剰分(不足分)	△11,310,614,025
土地	18,437,637	他団体出資等分	—
建物	632,701,467		
建物減価償却累計額	△278,394,615		
工作物	51,440,274,301		
工作物減価償却累計額	△28,442,431,403		
その他	—		
その他減価償却累計額	—		
建設仮勘定	5,670,000		
物品	2,317,915,831		
物品減価償却累計額	△1,748,877,090		
無形固定資産	51,353,040		
ソフトウェア	49,399,201		
その他	1,953,839		
投資その他の資産	4,245,080,825		
投資及び出資金	147,117,000		
有価証券	51,989,000		
出資金	95,128,000		
その他	—		
投資損失引当金	—		
長期延滞債権	110,827,015		
長期貸付金	41,752,000		
基金	3,648,964,664		

せたな町役場
全体

単体貸借対照表
(平成29年03月31日 現在)

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
減債基金	200,152,109		
その他	3,448,812,555		
その他	300,000,000		
徴収不能引当金	△3,579,854		
流動資産	3,404,535,770		
現金預金	1,265,799,614		
未収金	167,647,871		
短期貸付金	—		
基金	1,697,728,907		
財政調整基金	1,697,728,907		
減債基金	—		
棚卸資産	36,933,896		
その他	236,449,592		
徴収不能引当金	△24,110		
繰延資産	—	純資産合計	36,840,849,397
資産合計	49,858,270,285	負債・純資産合計	49,858,270,285

せたな町役場
全体

単体行政コスト計算書

自 平成28年04月01日
至 平成29年03月31日

(単位：円)

科目	金額
経常費用	12,265,697,906
業務費用	7,426,019,256
人件費	1,978,007,438
職員給与費	1,780,537,701
賞与等引当金繰入額	125,291,785
退職手当引当金繰入額	—
その他	72,177,952
物件費等	5,199,773,752
物件費	2,665,704,431
維持補修費	570,991,613
減価償却費	1,959,485,468
その他	3,592,240
その他の業務費用	248,238,066
支払利息	142,096,621
徴収不能引当金繰入額	3,603,964
その他	102,537,481
移転費用	4,839,678,650
補助金等	4,085,242,259
社会保障給付	596,487,252
他会計への繰出金	152,016,979
その他	5,932,160
経常収益	1,598,907,460
使用料及び手数料	961,054,128
その他	637,853,332
純経常行政コスト	10,666,790,446
臨時損失	1,872,315
災害復旧事業費	—
資産除売却損	12
投資損失引当金繰入額	—
損失補償等引当金繰入額	—
その他	1,872,303
臨時利益	1,208,662
資産売却益	—
その他	1,208,662
純行政コスト	10,667,454,099

せたな町役場
全体

単体純資産変動計算書

自 平成28年04月01日

至 平成29年03月31日

(単位：円)

科目	合計	固定資産等形成分		
		固定資産等形成分	余剰分（不足分）	他団体出資等分
前年度末純資産残高	37,027,655,118	49,518,321,067	△12,490,665,949	—
純行政コスト（△）	-10,667,454,099		△10,667,454,099	—
財源	10,339,119,682		10,339,119,682	—
税収等	8,482,273,313		8,482,273,313	—
国県等補助金	1,856,846,369		1,856,846,369	—
本年度差額	-328,334,417		△328,334,417	—
固定資産等の変動（内部変動）		—	—	—
有形固定資産等の増加		—	—	—
有形固定資産等の減少		—	—	—
貸付金・基金等の増加		—	—	—
貸付金・基金等の減少		—	—	—
資産評価差額	0	—		
無償所管換等	—	121,528,696		
他団体出資等分の増加	0			—
他団体出資等分の減少	—			—
その他	20,000,000	△1,488,386,341	1,508,386,341	
本年度純資産変動額	-186,805,721	△1,366,857,645	1,180,051,924	—
本年度末純資産残高	36,840,849,397	48,151,463,422	△11,310,614,025	—

せたな町役場
全体

単体資金収支計算書

自 平成28年04月01日
至 平成29年03月31日

(単位：円)

科目	金額
【業務活動収支】	—
業務支出	10,271,677,988
業務費用支出	5,431,999,338
人件費支出	1,955,525,277
物件費等支出	3,243,381,854
支払利息支出	142,096,621
その他の支出	90,995,586
移転費用支出	4,839,678,650
補助金等支出	4,085,242,259
社会保障給付支出	596,487,252
他会計への繰出支出	152,016,979
その他の支出	5,932,160
業務収入	11,679,290,350
税込等収入	8,485,654,334
国県等補助金収入	1,693,978,209
使用料及び手数料収入	966,688,285
その他の収入	532,969,522
臨時支出	—
災害復旧事業費支出	—
その他の支出	—
臨時収入	—
業務活動収支	1,407,612,362
【投資活動収支】	—
投資活動支出	652,424,587
公共施設等整備費支出	297,280,638
基金積立金支出	350,990,949
投資及び出資金支出	—
貸付金支出	4,153,000
その他の支出	—
投資活動収入	261,970,397
国県等補助金収入	154,516,578
基金取崩収入	99,178,465
貸付金元金回収収入	4,675,354
資産売却収入	—
その他の収入	3,600,000
投資活動収支	△390,454,190
【財務活動収支】	—
財務活動支出	1,470,052,655
地方債償還支出	1,468,666,655
その他の支出	1,386,000
財務活動収入	827,600,000
地方債発行収入	827,600,000
その他の収入	—

せたな町役場
全体

単体資金収支計算書

自 平成28年04月01日

至 平成29年03月31日

(単位：円)

科目	金額
財務活動収支	△642,452,655
本年度資金収支額	374,705,517
前年度末資金残高	853,959,617
本年度末資金残高	1,228,665,134
前年度末歳計外現金残高	32,716,662
本年度歳計外現金増減額	4,417,818
本年度末歳計外現金残高	37,134,480
本年度末現金預金残高	1,265,799,614

注 記

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和 59 年度以前に取得したもの……………再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

イ 昭和 60 年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

② 無形固定資産……………原則として取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

なお、地方公営企業会計においては、原則、取得原価としています。

(2) 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的以外の有価証券

市場価格のないもの……………取得原価

② 出資金

市場価格のないもの……………出資金額

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

個別法による低価法

(4) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建 物 15 年～50 年

工作物 10 年～50 年

物 品 3 年～17 年

② 無形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

（ソフトウェアについては、当町における見込利用期間（5 年）に基づく定額法によっています。）

(5) 引当金の計上基準及び算定方法

① 投資損失引当金

市場価格のない投資及び出資金のうち、連結対象団体（会計）に対するものについて、実質価額が著しく低下した場合における実質価額と取得価額との差額を計上しています。

② 徴収不能引当金

未収金については、過去 5 年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。長期延滞債権については、過去 5 年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。

③ 退職手当引当金

退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうちせたな町へ按分される額を加算した額を控除した額を計上しています。

④ 賞与等引当金

翌年度 6 月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(6) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

ア 所有権移転ファイナンス・リース取引（リース期間が 1 年以内のリース取引及びリース料総額が 300 万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

該当する取引はありません。

イ ア以外のファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(7) 連結資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含みます。

(8) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2 重要な会計方針の変更等

- (1) 会計方針の変更
該当する事項はありません。
- (2) 表示方法の変更
該当する事項はありません。
- (3) 連結資金収支計算書における資金の範囲の変更
該当する事項はありません。

3 重要な後発事象

- (1) 主要な業務の改廃
該当する事項はありません。
- (2) 組織・機構の大幅な変更
該当する事項はありません。
- (3) 地方財政制度の大幅な改正
該当する事項はありません。
- (4) 重大な災害等の発生
該当する事項はありません。

4 偶発債務

- (1) 保証債務及び損失補償債務負担の状況
他の団体（会計）の金融機関等からの借入債務に対する保証等はありません。
- (2) 係争中の訴訟等
係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているものはありません。

5 追加情報

(1) 連結対象会計

会計名	区分	連結の方法	比例連結割合
病院事業会計	地方公営事業会計（法適用）	全部連結	—
簡易水道事業特別会計	地方公営事業会計（非法適用）	全部連結	—
公共下水道事業特別会計	地方公営事業会計（非法適用）	全部連結	—
漁業集落排水事業特別会計	地方公営事業会計（非法適用）	全部連結	—
風力発電事業特別会計	地方公営事業会計（非法適用）	全部連結	—
営業用水道等事業特別会計	特別会計	全部連結	—
国民健康保険事業特別会計	特別会計	全部連結	—
介護保険事業特別会計	特別会計	全部連結	—
後期高齢者医療特別会計	特別会計	全部連結	—
介護サービス事業特別会計	特別会計	全部連結	—

連結の方法は次のとおりです。

地方公営企業会計は、すべて全部連結の対象としています。

ただし、地方公営企業法の財務規定等が適用されていない地方公営企業のうち、当該規定等の適用に向けた作業に着手している以下の会計については、連結対象会計の対象外としています。

簡易水道事業特別会計

営業用水道等事業特別会計（簡易水道事業特別会計に統合の上法適用の予定）

(2) 出納整理期間

地方自治法第 235 条の 5 に基づき出納整理期間を設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

なお、出納整理期間を設けていない会計と出納整理期間を設けている会計との間で、出納整理期間に現金の受払い等があった場合は、現金の受払い等が終了したものとして調整しています。

(3) 表示単位未満の取扱い

千円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

(4) 売却可能資産の範囲の範囲及び内訳は、次のとおりです。

ア 範囲

売却可能資産の範囲は、以下に該当するもののうち、せたな町が特定するものとする。

- ・現に公用もしくは公共用に供されていない公用財産（一時的に賃貸しているもの含む）
- ・売却が既に決定している、または、近い将来売却が予定されていると判断される資産

イ 内訳

該当する資産はありません

以上

連結貸借対照表
(平成29年03月31日 現在)

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】	—	【負債の部】	—
固定資産	47,635,588,049	固定負債	11,471,615,478
有形固定資産	43,264,063,993	地方債	9,602,184,915
事業用資産	18,970,294,064	長期未払金	—
土地	3,181,247,694	退職手当引当金	1,732,060,714
立木竹	2,651,494,559	損失補償等引当金	—
建物	34,673,851,517	その他	137,369,849
建物減価償却累計額	△21,801,397,560	流動負債	1,725,954,821
工作物	778,920,704	1年内償還予定地方債	1,468,328,971
工作物減価償却累計額	△513,822,852	未払金	77,173,093
船舶	3,434,150	未払費用	439,580
船舶減価償却累計額	△3,434,148	前受金	13,000
浮標等	—	前受収益	—
浮標等減価償却累計額	—	賞与等引当金	151,122,893
航空機	—	預り金	24,770,345
航空機減価償却累計額	—	その他	4,106,939
その他	—	負債合計	13,197,570,299
その他減価償却累計額	—	【純資産の部】	—
建設仮勘定	—	固定資産等形成分	49,333,743,839
インフラ資産	23,376,257,387	余剰分(不足分)	△11,308,611,474
土地	18,437,637	他団体出資等分	35,657,665
建物	632,701,467		
建物減価償却累計額	△278,394,615		
工作物	51,440,274,301		
工作物減価償却累計額	△28,442,431,403		
その他	—		
その他減価償却累計額	—		
建設仮勘定	5,670,000		
物品	4,225,808,070		
物品減価償却累計額	△3,308,295,528		
無形固定資産	51,507,650		
ソフトウェア	49,529,122		
その他	1,978,528		
投資その他の資産	4,320,016,406		
投資及び出資金	87,251,402		
有価証券	989,000		
出資金	83,128,000		
その他	3,134,402		
投資損失引当金	—		
長期延滞債権	111,156,226		
長期貸付金	41,752,000		
基金	3,676,983,924		

連結貸借対照表
(平成29年03月31日 現在)

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
減債基金	200,152,109		
その他	3,476,831,815		
その他	406,459,887		
徴収不能引当金	△3,587,033		
流動資産	3,622,772,280		
現金預金	1,445,884,420		
未収金	180,837,254		
短期貸付金	—		
基金	1,698,155,790		
財政調整基金	1,698,155,790		
減債基金	—		
棚卸資産	42,275,016		
その他	255,762,498		
徴収不能引当金	△142,698		
繰延資産	—	純資産合計	38,060,790,030
資産合計	51,258,360,329	負債・純資産合計	51,258,360,329

連結行政コスト計算書

自 平成28年04月01日

至 平成29年03月31日

(単位：円)

科目	金額
経常費用	14,464,965,767
業務費用	8,505,789,683
人件費	2,466,447,423
職員給与費	2,229,660,919
賞与等引当金繰入額	151,122,893
退職手当引当金繰入額	1,026,459
その他	84,637,152
物件費等	5,709,916,323
物件費	2,920,412,553
維持補修費	626,097,751
減価償却費	2,082,778,669
その他	80,627,350
その他の業務費用	329,425,937
支払利息	143,440,291
徴収不能引当金繰入額	3,609,237
その他	182,376,409
移転費用	5,959,176,084
補助金等	5,202,221,120
社会保障給付	596,487,252
他会計への繰出金	152,950,779
その他	7,516,933
経常収益	1,899,694,982
使用料及び手数料	995,682,439
その他	904,012,543
純経常行政コスト	12,565,270,785
臨時損失	2,951,003
災害復旧事業費	—
資産除売却損	36,352
投資損失引当金繰入額	—
損失補償等引当金繰入額	—
その他	2,914,651
臨時利益	2,369,026
資産売却益	—
その他	2,369,026
純行政コスト	12,565,852,762

連結純資産変動計算書

自 平成28年04月01日

至 平成29年03月31日

(単位：円)

科目	合計	固定資産等形成分		
		固定資産等形成分	余剰分（不足分）	他団体出資等分
前年度末純資産残高	38,291,431,402	50,741,676,254	△12,482,601,838	32,356,986
純行政コスト（△）	-12,565,852,762		△12,569,153,441	3,300,679
財源	12,193,653,320		12,193,653,320	—
税収等	9,499,074,874		9,499,074,874	—
国県等補助金	2,694,578,446		2,694,578,446	—
本年度差額	-372,199,442		△375,500,121	3,300,679
固定資産等の変動（内部変動）		—	—	—
有形固定資産等の増加		—	—	—
有形固定資産等の減少		—	—	—
貸付金・基金等の増加		—	—	—
貸付金・基金等の減少		—	—	—
資産評価差額	0	—		
無償所管換等	—	121,528,696		
他団体出資等分の増加	0			—
他団体出資等分の減少	—			—
その他	20,029,374	△1,529,461,111	1,549,490,485	
本年度純資産変動額	-230,641,372	△1,407,932,415	1,173,990,364	3,300,679
本年度末純資産残高	38,060,790,030	49,333,743,839	△11,308,611,474	35,657,665

連結資金収支計算書

自 平成28年04月01日
至 平成29年03月31日

(単位：円)

科目	金額
【業務活動収支】	—
業務支出	10,271,677,988
業務費用支出	5,431,999,338
人件費支出	1,955,525,277
物件費等支出	3,243,381,854
支払利息支出	142,096,621
その他の支出	90,995,586
移転費用支出	4,839,678,650
補助金等支出	4,085,242,259
社会保障給付支出	596,487,252
他会計への繰出支出	152,016,979
その他の支出	5,932,160
業務収入	11,679,290,350
税込等収入	8,485,654,334
国県等補助金収入	1,693,978,209
使用料及び手数料収入	966,688,285
その他の収入	532,969,522
臨時支出	—
災害復旧事業費支出	—
その他の支出	—
臨時収入	—
業務活動収支	1,407,612,362
【投資活動収支】	—
投資活動支出	652,424,587
公共施設等整備費支出	297,280,638
基金積立金支出	350,990,949
投資及び出資金支出	—
貸付金支出	4,153,000
その他の支出	—
投資活動収入	261,970,397
国県等補助金収入	154,516,578
基金取崩収入	99,178,465
貸付金元金回収収入	4,675,354
資産売却収入	—
その他の収入	3,600,000
投資活動収支	△390,454,190
【財務活動収支】	—
財務活動支出	1,470,052,655
地方債償還支出	1,468,666,655
その他の支出	1,386,000
財務活動収入	827,600,000
地方債発行収入	827,600,000
その他の収入	—

せたな町役場
連結

連結資金収支計算書

自 平成28年04月01日

至 平成29年03月31日

(単位：円)

科目	金額
財務活動収支	△642,452,655
本年度資金収支額	407,354,571
前年度末資金残高	1,000,540,021
本年度末資金残高	1,407,894,592
前年度末歳計外現金残高	33,152,505
本年度歳計外現金増減額	4,837,323
本年度末歳計外現金残高	37,989,828
本年度末現金預金残高	1,445,884,420

注 記

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和 59 年度以前に取得したもの……………再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

イ 昭和 60 年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

② 無形固定資産……………原則として取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

なお、一部の連結対象団体（会計）においては、原則、取得原価としています。

(2) 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的以外の有価証券

市場価格のないもの……………取得原価

② 出資金

市場価格のないもの……………出資金額

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

個別法による低価法

(4) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建 物 15年～50年

工作物 10年～50年

物 品 3年～17年

② 無形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

（ソフトウェアについては、当町における見込利用期間（5年）に基づく定額法によっています。）

(5) 引当金の計上基準及び算定方法

① 投資損失引当金

市場価格のない投資及び出資金のうち、連結対象団体（会計）に対するものについて、実質価額が著しく低下した場合における実質価額と取得価額との差額を計上しています。

② 徴収不能引当金

未収金については、過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。長期延滞債権については、過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。

ただし、一部の連結対象団体（会計）においては、法人税法に規定する法定繰入率に基づく繰入限度額によっています。

③ 退職手当引当金

退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうちせたな町へ按分される額を加算した額を控除した額を計上しています。

④ 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(6) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

ア 所有権移転ファイナンス・リース取引（リース期間が1年以内のリース取引及びリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

該当する取引はありません。

イ ア以外のファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(7) 連結資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含みます。

(8) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

ただし、一部の連結対象団体（会計）については、税抜方式によっています。

2 重要な会計方針の変更等

- (1) 会計方針の変更
該当する事項はありません。
- (2) 表示方法の変更
該当する事項はありません。
- (3) 連結資金収支計算書における資金の範囲の変更
該当する事項はありません。

3 重要な後発事象

- (1) 主要な業務の改廃
該当する事項はありません。
- (2) 組織・機構の大幅な変更
該当する事項はありません。
- (3) 地方財政制度の大幅な改正
該当する事項はありません。
- (4) 重大な災害等の発生
該当する事項はありません。

4 偶発債務

- (1) 保証債務及び損失補償債務負担の状況
他の団体（会計）の金融機関等からの借入債務に対する保証等はありません。
- (2) 係争中の訴訟等
係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているものはありません。

5 追加情報

(1) 連結対象団体（会計）

会計名	区分	連結の方法	比例連結割合
病院事業会計	地方公営事業会計（法適用）	全部連結	—
簡易水道事業特別会計	地方公営事業会計（非法適用）	全部連結	—
公共下水道事業特別会計	地方公営事業会計（非法適用）	全部連結	—
漁業集落排水事業特別会計	地方公営事業会計（非法適用）	全部連結	—
風力発電事業特別会計	地方公営事業会計（非法適用）	全部連結	—
営業用水道等事業特別会計	特別会計	全部連結	—
国民健康保険事業特別会計	特別会計	全部連結	—
介護保険事業特別会計	特別会計	全部連結	—
後期高齢者医療特別会計	特別会計	全部連結	—
介護サービス事業特別会計	特別会計	全部連結	—
北海道市町村備荒資金組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	—
北海道後期高齢者広域連合	一部事務組合・広域連合	比例連結	0.24%
北海道市町村職員退職手当組合	一部事務組合・広域連合	※	—
北海道市町村総合事務組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	—
北海道町村議会議員公務災害補償等組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	—
北部桧山衛生センター組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	59.80%
檜山広域行政組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	32.09%
渡島・檜山地方税滞納整理機構	一部事務組合・広域連合	比例連結	0.06%
(株)北檜山観光振興公社	第三セクター等	全部連結	—
北部桧山森林組合	第三セクター等	比例連結	49.08%

連結の方法は次のとおりです。

- ① 地方公営企業会計は、すべて全部連結の対象としています。

ただし、地方公営企業法の財務規定等が適用されていない地方公営企業のうち、当該規定等の適用に向けた作業に着手している以下の会計については、連結対象団体（会計）の対象外とし

て

います。

簡易水道事業特別会計

営業用水道等事業特別会計（簡易水道事業特別会計に統合の上法適用の予定）

- ② 一部事務組合・広域連合は、各構成団体の経費負担割合等に基づき比例連結の対象としています。ただし、以下の一部事務組合・広域連合について平成 30 年 3 月 20 日までに統一的な基準による財務書類を入手できなかったため、連結していません。

・北海道市町村備荒資金組合

・北海道市町村総合事務組合

- ・北海道町村議会議員公務災害補償等組合

※北海道市町村退職手当組合については、連結財務書類の貸借対照表に当該団体の退職手当にかかる基金及び退職手当支給準備金を計上して連結したものとみなす方法により連結しています。

- ③ 第三セクターは、出資割合等が 50%を超える団体（出資割合等が 50%以下であっても業務運営に実質的に主導的な立場を確保している団体を含みます。）は、全部連結の対象としています。

(2) 出納整理期間

地方自治法第 235 条の 5 に基づき出納整理期間を設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

なお、出納整理期間を設けていない会計と出納整理期間を設けている会計との間で、出納整理期間に現金の受払い等があった場合は、現金の受払い等が終了したものと調整しています。

(3) 表示単位未満の取扱い

千円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

(4) 売却可能資産の範囲の範囲及び内訳は、次のとおりです。

ア 範囲

売却可能資産の範囲は、以下に該当するもののうち、せたな町が特定するものとする。

- ・現に公用もしくは公共用に供されていない公用財産（一時的に賃貸しているもの含む）
- ・売却が既に決定している、または、近い将来売却が予定されていると判断される資産

イ 内訳

該当する資産はありません

以上